



いい雰囲気は今でも残すちりめん問屋



# ふるさと わがまち わが地域

峰山町  
第5区

## 古くから商業の中心地

### 面影残す当時の町並み

人口81人  
世帯数36  
(平成24年  
4月1日現在)

峰山町第5区は峰山地区の中心部に位置し、古くから商業地帯として栄えてきました。峰山町浪花と富貴屋、千歳の一部で構成されます。現在では裏通りになってしまった「鉄砲町」も江戸時代は鉄砲鍛冶があったことの名残です。(江戸時代はこの通りが本通りだったそうです)「ガチャ万」景気で沸いた昭和40年代当時の写真を見ると、

たくさんの人たちが、この地に買い物に訪れて賑わっている様子が伺われます。近年は、郊外型のショッピングセンターができて店舗数は減りましたが、昔ながらの店舗構えを残すちりめん問屋など風格のある町並みは今でも健在です。人通りが少なくなったとはいえ、現在でも買い物に訪れる人々で賑わいを見せています。



裏通りになる「鉄砲町」子供たちの声が響きます

## 十九年ぶりの復活

芸屋台「釜掘山」

### 祝「釜掘山」

#### 金刀比羅神社二百年大祭を迎えて

5区の自慢に芸屋台「釜掘山」があります。近年は人手不足などで、平成四年の巡行を最後に休眠状態でしたが、平成二十二年、区民と協力者の力で、実に十八年ぶりに復活しました。

刀比羅神社二百年大祭で本格的な巡行を遂げています。峰山地区では、現在五基の屋台が継承されており、この「釜掘山」は芸屋台で一際大きく見送りの立派なものです。屋台について昭和時代に書かれた説明が次のとおりです。

#### 芸屋台「釜掘山」由来

当区には作成年代不明の「釜掘山」という立派な屋台があったが、昭和二年三月七日の丹後大震災で焼失した。昭和三年十一月、鳳凰の乗った仮屋台を急造して御大典を奉祝した。

現在の屋台は昭和六年から七年にかけて新造された。当時、大震災で全町焼野原になった直後の復興途上であっただけに大変な事業であったろう。

じっと目をとじれば、先輩区民各位のたくましい意気と、旺盛な行動力のある姿がまざま

ざと想像できる。

ちなみに総建造費二千七百三十四七錢也(当時の米価一升約二十錢)棟梁 谷口弥太郎、塗師 井藤栄吉、見送りは京都にて特性、区長 富田豊治、代理者 中山光義ほか委員数名。

屋台囃子は、廻り、一軒所、山赤、駒、六段、岩滝、小松、竹雀、十二神楽、三楽、高砂丹全、馬鹿囃子、平作、沖の大船、嵐山、夜車、天神、雁燕、猿廻、手習、曼歳、潮干狩、等の曲目が伝わっており伝統芸能として区内の有志によって現在まで継承されている。

峰山町第五区 区長



華やかな金刀比羅神社二百年大祭の屋台巡行



少し色褪せた昭和時代一枚 たくさんの区民です



芸屋台「釜掘山」には、かつて峰山新地で芸奴をされていた「峰絹会」のみなさんが乗り込み、伝統の素晴らしい踊りを披露してくださいました。

# 地域を守るのは自分たちの手で 自主防災組織を結成

当区では、洪水や地震、火事といった災害から区民を守り、被害の軽減を図ることを目的に平成21年9月「5区防災委員会」を設立しました。

区長を委員長に据え、実際に動けるものが役員を務めています。

毎年、市の防災訓練日に区民を集め、防災訓練を実施しています。

平成23年度、24年度は、消火用ホースが設置されたので、消防団の方々に世話になりました。水を出す訓練を行いました。

## 名称は「5区防災委員会」

平成22年度は4区の皆さんと合同で災害時の避難訓練を行いました。

また、設立当初の平成21年度には、この地区ならではの「浸水被害時にブルーシートを活用して家屋への浸水を食い止める方法の研修」を行い、好評を得ています。

その他の活動として、平成23年度には、家庭用火災報知器の設置義務化に伴い、全世帯へ各3台の全額補助を行い高齢者家庭（希望者）には取り付けも行いました。



平成20年7月28日短期的集中豪雨で氾濫した小西川

区内を流れる二級河川「小西川」が大雨のたびに溢れ、床上・床下浸水という甚大な被害を引き起こします。特に、近年回数を増し、不安の種となっています。

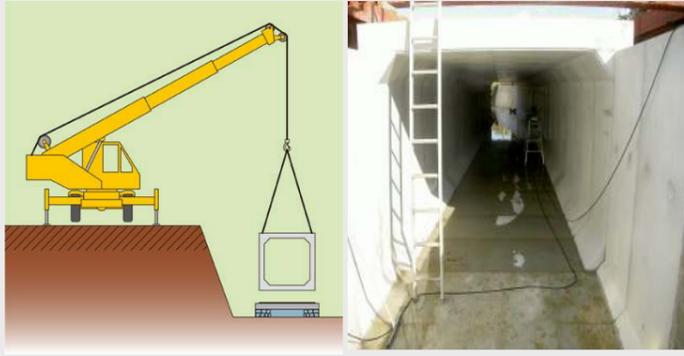
そんな中、平成二一年九月に峰山地区区長会を発起人とした組織「峰山地区河川整備等まちづくり促進協議会」が結成されました。

当区からも役員を派遣して、河川改修に向けた動きが活発に行われています。

河川を管理する京都府丹後土木事務所からは、川と平行して走る市道の地下に、もう一本川を通す「ボックスカル

# 区民を脅かす災害 度重なる小西川の氾濫に苛立つ区民

ボックスカルバート工法のイメージ



「バート」工法が提案され、早期の実現が望まれています。



平成24年8月の防災訓練の様子

# 区民ふれあいの集い

5区では、昔から毎年「子供の日」の行事でレクリエーションをしていました。

しかし、近年になってからは子供の人数が減少し、大人も含めたレクリエーション「区民ふれあいの集い」に変化してきました。

区民でお出かけをして、美味しい料理と温泉を楽しむというのが最近の定番でしたが、今年度は内容を刷新し、新しい試みを行いました。

今までの「お出かけ」は、行く先が無くなってしまった（近場中心なので限られてきた）。どうしても出かけられない人もいます。といった理由から「お

出かけ」は無しにしてレクリエーションを考えました。

5月27日に開催した「区民ふれあいの集い」はそれらを考慮して4区「いきいき創造センター」を利用し、箏曲アンサンブル歌音さんによる素晴らしい演奏に始まり、マジック夢倶楽部のお二人によるマジックショーで子供から高齢者まで楽しいひと時を過ごしました。

夕方からは、希望によりバーベキューまたはお弁当での会食を楽しみ夜は更けていきました。

来年以降の取り組み内容は未定ですが、区民の皆さんが楽しめる企画を考えたいと思っています。

みんなで過ごす  
楽しいひととき



素晴らしいハーモニーです



「笑！」

盛り上がった  
箏曲アンサンブルと  
マジックショー



驚？



素晴らしい演奏に熱心に聞き入る区民の皆さん



お地蔵さんに守られて

いつ頃からあるのか分かりませんが、小西川沿いのお堂にお地蔵さんが祭られています。

特に決まっているわけではありませんが、地区のお年寄りがお茶やお花を供えたりしています。

また毎年8月23日には区会館（浪花会館）で地藏盆が開かれます。

子供は少なくなりましたが、愛護委員さんのお世話で楽しい行事が行われています。